

まちかど PHOTO★ニュース

まちの話題募集中

～あなたがまちの特派員～

あんなことやこんなこと、いま街角で一番輝いている話題をお知らせください。取材に伺います。
問合先：秘書課 ☎ 8701



第2回勾玉づくりワークショップ開催

5月3日に玉丘史跡公園で市内外から親子連れら33人と、今回初めて北条高校の文芸美術部の生徒7人が参加しました。参加者は好みの色の石を思い思いの形に磨いて、ビーズなどを組み合わせて仕上げました。玉丘古墳を背景に勾玉と笑顔が溢れました。



地域活性化へ PPES と包括連携協定を締結

4月22日、加西市における市民サービスの向上と更なる地域活性化を目指し綿密な相互連携と協働による活動を推進するため、プライム プラネット エナジー&ソリューションズ株式会社との「包括連携協定」を締結しました。連携する事項としては、主に環境・省エネ対策、教育の振興・人材育成、地域の魅力発信等に関する事となっており、今後、相互の人的・知的資源の活用を図り、協働して事業を展開していきます。



好田社長と西村市長

第45回 町親善ソフトボール大会開催

5月8日(日)、第45回町親善ソフトボール大会が開催され、11チーム200名が参加しました。地域の交流ならびにスポーツの振興をはかり、熱戦を繰り広げました。なお、1部優勝の古坂、2位の横尾チームは秋に実施される北播大会に加西市代表として出場されます。



給食無償化記念 加西産ビーフに笑顔

学校給食無償化を記念して、加西産ビーフが入ったカレーなどの特別メニューが市内小中学校、特別支援学校の給食に提供されました。辻佳恵さん(北条中1年)は「お肉はやわらかくておいしかった。これからも食べたい」と笑顔で話しました。



鶉野中町花家族の会 花壇でおもてなし

鶉野中町花家族の会が、鶉野飛行場跡滑走路沿いに、四季の花が楽しめる花壇を整備しました。県の補助金を活用し、芝生を敷き詰め、椅子やテーブルも設置しました。代表の尾花幸雄さんは「3年がかりで完成。観光で訪れる団体客やウォーキング客がほっと一息つける場所になれば」と話しました。



春の交通安全 高校生がヘッドマーク作成

北条鉄道は「春の全国交通安全運動」に合わせて、北条高校と播磨農業高校の生徒が、キハ40に取り付けるヘッドマークを作成しました。この日は、除幕式が行われ安全運転を呼びかけながら出発しました。



キハ40に乗ってゆく 東北訛り大合戦

北条鉄道は、東北からやってきたキハ40にちなみ、「まるごと東北列車」を運行。参加者たちは車内で繰り上げられる東北弁クイズを楽しみました。高橋理仁くんは「初めて聞く言葉ばかりで難しかったけど、独特の言葉でおもしろかった」と話しました。



ヴィッセル神戸サッカークリニック in加西

3月21日、市内のスポーツ少年団員を対象に、ヴィッセル神戸サッカースクールのコーチをお招きし、子ども向けのクリニックを開催しました。学年別に分かれ、実力に応じた指導をしていただきました。



加西とまと出荷組合 小学生へ食育活動

賀茂、富合、九会、宇仁小学校の3年生が加西とまと出荷組合協力のもと、ハウス見学後、トマトの写生を行いました。佐々木勇聡さん(富合小)は「難しかったけど上手に描けた。大きいトマトが獲れてうれしい」と笑顔で話しました。



さわやか市民賞を贈呈

高部侑汰さん(弘前大学4年)

加西市は、高部侑汰さんにさわやか市民賞をお贈りしました。高部さんは、第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会の兵庫県選考会で3位となり、令和4年2月17日より開催された第77回国民体育大会冬季大会「美の国あきた鹿角国体2022」に兵庫県代表選手として出場されました。「これまで関わってきた方たちへの恩返しになればと思います。うれしいです」と受賞を喜ばれました。



岡田毅さん(トマト生産農家)

加西市は、岡田毅さん(下宮木町)にさわやか市民賞をお贈りしました。岡田さんは、兵庫県ハウストマト研究会主催の第53回兵庫県ハウストマト立毛品評会において、一等賞一席(最高順位)に当たる農林水産大臣賞を受賞されました。また、加西とまとを地域の人々に知ってもらおうと食育活動にも力を入れており「トマト好きをたくさん作って皆さんに産地を愛してもらいたい」と話しました。



岡田さんと西村市長